

普及活動情勢報告（令和５年５月分）

中央西農業振興センター高知農業改良普及所

土佐山ユズの園地流動化に向けて ～高知市土佐山柚子生産組合総会及び研修会～



研修会の様子

４月２１日、土佐山公民館で令和４年度の総会及び研修会が開催され、組合員２５名が参加しました。

普及所からは、研修会で土佐山のユズに対する産地ビジョンと、園地流動化に対する今年度の取組を説明しました。具体的には、ＪＡ、市、普及所の３者で、生産者を個別に訪問する形で、生産の現状と計画、後継者の有無や園地の貸出し等に関し、聞き取り調査を計画していることを説明し、協力をお願いしました。

普及所は今後も関係機関と連携し、産地の抱える問題を把握するとともに、産地の担い手増加など維持発展に向けた支援を行います。

キュウリ農家で実践研修 ～研修生のさらなる実践に向けた取り組み～



作業ポイントについて聴講中

４月２４～２８日の５日間、キュウリでの就農希望者が春野町の指導農業士の元で実践研修を行いました。担い手育成センターで１年間の基礎研修終了後、８月からの長期農家研修に先立ち、より多くの現地経験をふまえ見聞を深めることを目的に行いました。指導農業士から地域での関わり方やほ場の特性について指導がありました。

普及所からは、施設園芸は長期間拘束になるため、全般的に余暇を持つことの重要性を研修生にアドバイスしました。

今後も普及所は研修生が円滑に現地研修できるように、支援チーム員と連携しながら支援を継続します。

今年度の活動内容について検討しました！ ～高知地区農村女性リーダー総会～



お宅訪問に向けて話し合い

５月１０日、女性リーダー９名が参加し、高知農業改良普及所で令和４年度の総会を開催しました。

普及所は、会の運営サポートを行い、家族経営協定や親元就農等について情報提供を行いました。

管内の女性リーダーは昨年度から徐々に活動を再開しており、今年度も女性リーダー同士の研修や情報交換の場として、お宅訪問活動を行うことが決定しました。また、今後の活動内容についても活発な意見交換が行われ、にぎやかな会となりました。

普及所は、今後も農村女性リーダーのレベルアップにつながるよう活動をサポートしていきます。

環境データの活用により病害を抑えよう ～ピーマン現地検討会～



ほ場での意見交換の様子

5月17日、JA高知市長浜支所園芸部ピーマン部会の現地検討会が開催され、生産者6名が参加しました。本部会では、令和5園芸年度に新たに4戸が環境測定装置を導入し、温湿度等の環境データの活用に取り組んでいます。

普及所からは、管内での黒枯病の発生状況や湿度管理による対策事例を紹介しました。

生産者からは、「循環扇の稼働時間は？」「今の湿度は？」といった声が聞かれ、データを確認しながら意見交換する姿が見られました。

普及所は今後もJAと連携しながら、栽培管理の改善に向け、支援していきます。

栽培技術の向上を目指して ～ナス現地検討会～



ほ場での意見交換の様子

5月19日、JA高知県春野ナス部会の現地検討会が開催され、10名が参加しました。

普及所からは、今年度試験中の新しい仕立て及び整枝方法の実証途中結果と、環境データに基づく栽培管理改善の取組について報告を行いました。

生産者からは、環境測定装置の種類や価格、活用方法などの質問があり、取組意欲の高さが伺えました。

今後も普及所ではJAと連携し、生産者の栽培技術の向上を支援していきます。